

第126期（2022年3月期） 定時株主総会

2022年6月24日
グンゼ株式会社

第126期定時株主総会

議事次第（開始時刻：午後1時）

報告事項

1. 第126期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)
事業報告、連結計算書類及び計算書類の内容報告の件
2. 会計監査人及び監査役会の
第126期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)
連結計算書類監査結果報告の件

決議事項

- | | |
|-------|-------------|
| 第1号議案 | 剰余金の処分の件 |
| 第2号議案 | 定款一部変更の件 |
| 第3号議案 | 取締役8名選任の件 |
| 第4号議案 | 補欠監査役1名選任の件 |

第126期定時株主総会 報告事項



I

事業の経過及びその成果

お手許の招集ご通知 **18ページ**をご参照

I -1. 第126期（2021年度） 連結業績

（単位：億円 単位未満切捨て）

	第126期 (2021年度)	利益率 (%)	第125期 (2020年度)	利益率 (%)
売上高	1,243	—	1,236	—
営業利益	48	3.9	46	3.7
経常利益	53	4.3	50	4.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	29	2.3	21	1.7

「収益認識に関する会計基準」等を当連結会計年度（第126期）の期首から適用しており、前連結会計年度（第125期）と収益の会計処理が異なることから、増減額及び前期比（%）は記載しておりません。

第126期定時株主総会 報告事項



Ⅱ

事業セグメント別の概況

お手許の招集ご通知 **19～20ページ**をご参照

Ⅱ-1. 機能ソリューション事業

■ プラスチック



ナイロンフィルム

売上高	:	561億円	(前期	496億円)
営業利益	:	80億円	(前期	48億円)

■ エンジニアリングプラスチック



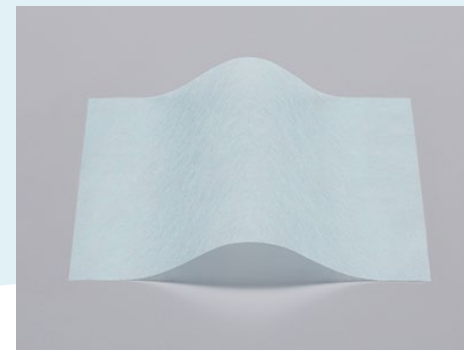
NET
(フッ素樹脂PFAメッシュ)

■ 電子部品



静電容量タッチパネル付き
液晶モジュール

■ メディカル



組織補強材
(ネオバールナノ)

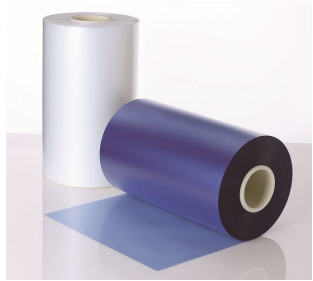
II-2. 機能ソリューション事業 1 (プラスチック)

**包装用フィルムの巣ごもり需要継続
輸出・工業用フィルムは堅調に推移**

概況	
収縮ラベル用フィルム (シュリンクフィルム)	外出抑制、イベント自粛が続く飲料向けが苦戦(前年並み) バイオマス原料を使用した環境対応型製品をリリース
包装用フィルム (ナイロン・OPPフィルム)	内食需要、食品の個包装化の定着により食品向け需要増加 冷凍流通の拡大により冷凍耐ピン用途等が好調
工業用フィルム (多層シート/半導体関連)	半導体市場活況により堅調



■ OPPフィルム



■ 多層シート



■ シュリンクフィルム
(環境対応型製品)

II-3. 機能ソリューション事業 2 (エンジニアリングプラスチック)

**OA機器向け製品の回復
 半導体市場向け製品が好調**

概況	
繊維技術活用製品	昨年引き続き通信回線増強やIOT (モノのインターネット) の発展にともなうセンサー需要増により、半導体製造に用いるフィルターが好調
OA (オフィス機器) 向け製品	<ul style="list-style-type: none"> ・オフィス事務機(複合機等)向けが回復 ・テレワーク定着による小型プリンター市場の活況により好調



■ 半導体製造用フィルター資材



■ フッ素樹脂熱収縮チューブ

II-4. 機能ソリューション事業3 (電子部品)

世界的な半導体不足に伴う部材調達の長期化影響を受けるコストダウン活動が寄与

※当年4月に事業構造の最適化を目的として電子部品事業部フィルム部門の譲渡を決定



■ 静電容量タッチパネル (PCAP)

概況	
タッチパネル	前期の米国向けコロナ特需（医療機器向け）終了による反動と半導体不足による顧客側の部材調達難航の影響を受け苦戦
機能フィルム	テレワーク定着によりパソコン向けフィルム状光学粘着シート（OCA）は堅調 導電性フィルム（ITO）は新規拡販が苦戦



■ 機能フィルム (多機能OCA)

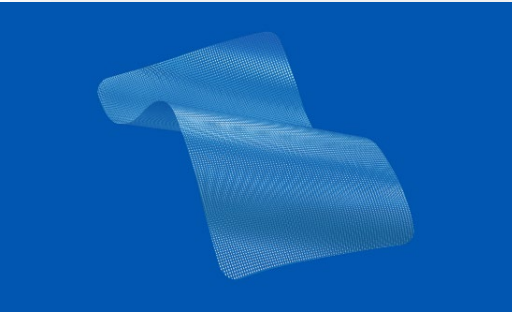
II - 5 . 機能ソリューション事業 4 (メディカル)

一部地域で新型コロナウイルスの影響が残るものの、
中国市場及び医療用レーザーの伸長により好調に推移

概況	
組織補強材	手術件数の回復により好調
医療用レーザー	世界的な半導体不足にともない、競合各社が医療レーザー機器の調達、納品が滞る中、販売シェアを奪取し業績に大きく貢献
癒着防止材	国産初のシート状吸収性癒着防止材「テナリーフ」を販売開始



■ 医療用脱毛レーザー機



■ 吸収性癒着防止材 (テナリーフ)

II-6. アパレル事業

■ インナーウェア

■ レッグウェア

売上高 : 571億円 (前期 626億円)
 営業損失 : 5億円 (前期 営業利益23億円)

新型コロナウイルス感染拡大に伴う市況低迷などにより店頭販売が影響を受ける
 EC、通販チャネル（流通経路）は好調に推移



GUNZE OUTLET酒々井プレミアム・アウトレット店
 (千葉県印旛郡酒々井町：2022年3月オープン)



グンゼオンラインストア

Ⅱ-7. アパレル事業 1 (インナーウェア)

メンズ	ベトナム生産工場が操業休止となり販売機会損失の影響を受ける
レディス	接着技術を用いた差異化ファンデーションや環境配慮型素材の新商品が好調に推移

主要トピックス

	ブランド等	概況
メンズ	BODYWILD	成型「3D-Boxer」及び新シリーズ「EZX」のボクサーパンツが好調
	YG	天然素材トレンドに対応した機能綿素材やTシャツ対応インナー「inT」が好調
レディス	KIREILABO	オーガニックコットンを使用した肌にやさしい立体シルエットインナー「Fitte (フィット)」が好調
	Tuché	快適性と補整機能を両立させた差異化ファンデーション「ボディシェイパー」が好調



■ BODYWILD EXZ (ボディワイルド イージーエクス ブーストボクサー)



■ KIREILABO Fitte (キレイラボ フィット)

Ⅱ-8. アパレル事業2 (レッグウェア)

ストッキング	着用機会の減少により販売が苦戦
レギンス スタイリッシュボトム	消費者ニーズの変化に基づく市場対応力を強化し新商品を積極展開

主要トピックス

	ブランド等	概況
ライフスタイルの変化に対応した商品の開発・販売を強化		
レギンス	SABRINA	補整・サポート機能を備えた「スタイリッシュサポートレギンス」を発売
ホーム	ウチコレ	おうち時間のながら美容に適した履きやすさ「ナイトレギンス」を発売
スタイリッシュボトム	BODYWILD	動きやすさと快適性にこだわったアクティブパンツを発売

(ストッキング)

- 工場稼働停止による生産調整
- 収益性の低下にともなう棚卸資産評価損計上



■ SABRINA
 スタイリッシュ
 サポートレギンス



■ ウチコレ ナイトレギンス



■ BODYWILD 快適アクティブパンツ

Ⅱ-9. ライフクリエイト事業

売上高	:	115億円	(前期	119億円)
営業利益	:	4億円	(前期	4億円)

■ 不動産関連



ガンゼタウンセンター つかしん
(兵庫県尼崎市)

■ スポーツクラブ



ガンゼスポーツ

Ⅱ-10. ライフクリエイイト事業 1 (不動産開発)

不動産賃貸	賃貸住宅・ビルの売却により投資効率と収益性が改善し堅調に推移 東京支社ビル売却による投下資本改善
ショッピングセンター	緊急事態宣言等による時短営業やイベントの中止による集客影響を受ける 前橋リカ（群馬県前橋市）売却による事業構造改善

概況

ショッピングセンター	緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の断続的な適用による休業、時短営業の影響を受ける（つかしん、エルミここのす）来館者数鈍化による歩合賃料収入減と空き区画増加により苦戦（湯の華廊）入場者数の減少により苦戦
------------	---



■ ショッピングセンター「エルミここのす」
（埼玉県鴻巣市）



■ 温浴施設「湯の華廊」
（兵庫県尼崎市）つかしん内

Ⅱ-11. ライフクリエイト事業 2 (スポーツクラブ)

緊急事態宣言再発令および自治体からの要請に伴う
臨時休館・営業時間短縮等の影響を受ける

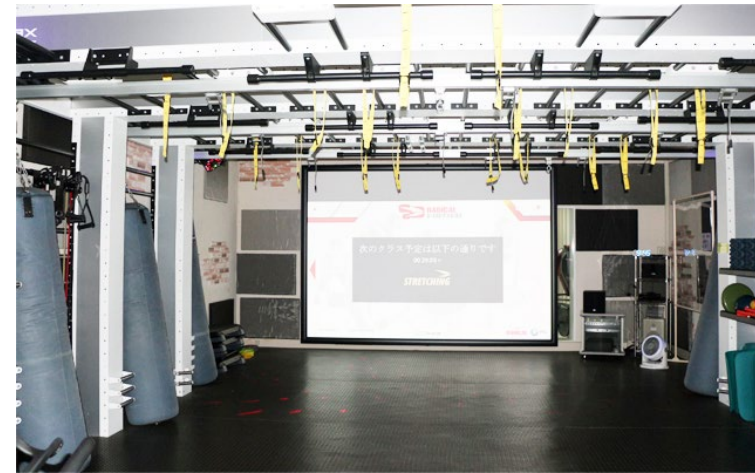
概況

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が断続的に適用され、フィットネス会員の獲得に苦戦

顧客のニーズに合わせた利用方法と料金が自由に選べる新形態のフィットネジム「GUNZE SPORTS FLECX」をオープン (業界初)
※京都烏丸六角店をリニューアル

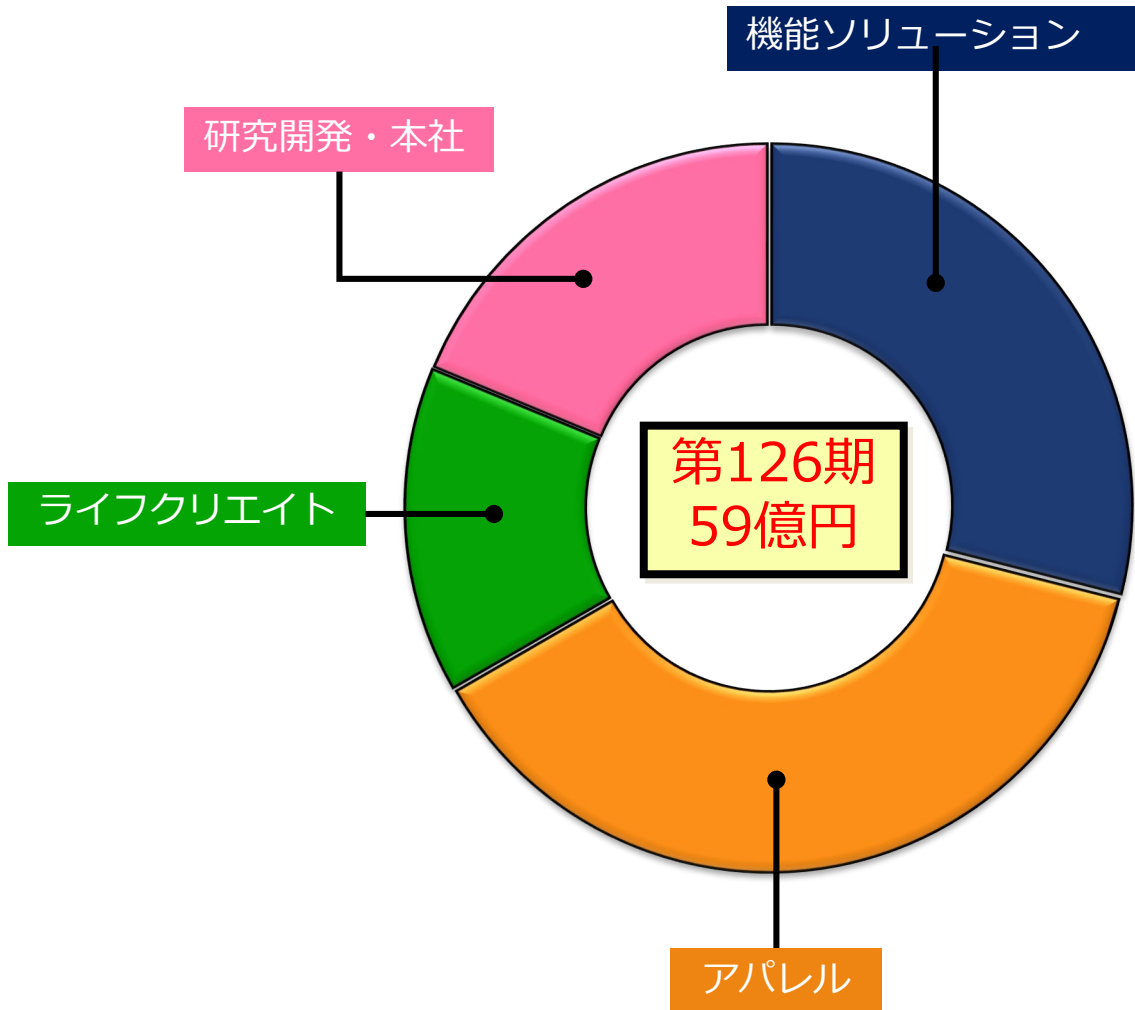


■ GUNZE SPORTS FLECX



■ GUNZE SPORTS FLECXに導入されたラディカルバーチャル (※) スタジオ
(※) 世界のトップクラスのトレーナーによるレッスンが受けられる映像プログラム

Ⅱ-12. 設備投資の状況



■ 機能ソリューション事業 (17億円)

プラスチックフィルム生産設備
エンジニアリングプラスチック生産設備 等

■ アパレル事業 (22億円)

インナーウェア生産設備
通販システム再構築 等

■ ライフクリエイト事業 (8億円)

商業施設の改装 等

■ 研究開発・本社部門 (11億円)

基幹システム機器の更新 等

第126期定時株主総会 報告事項



Ⅲ Ⅳ

計算書類（連結）

お手許の招集ご通知 **41～44ページ**をご参照

Ⅲ-1. 連結貸借対照表 1 (資産の部)

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目		第126期 (2021年度)	第125期 (2020年度)	増減
資産の部	流動資産	791	720	71
	固定資産	790	875	△85
	有形固定資産	594	649	△54
	無形固定資産	13	16	△2
	投資その他の資産	181	210	△28
資産合計		1,582	1,596	△14

流動資産 (前期比)	
現金及び預金	47
棚卸資産	25
未収入金等 (その他の流動資産)	7
受取手形及び売掛金	△10
有形固定資産 (前期比)	
建物及び構築物 (純額)	△58
土地	△16
建設仮勘定 (有形)	15
工具、器具及び備品 (純額)	8
投資その他の資産 (前期比)	
投資有価証券	△36
繰延税金資産	7

Ⅲ-2. 連結貸借対照表 2 (負債の部、純資産の部)

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目		第126期 (2021年度)	第125期 (2020年度)	増減
負債の部	流動負債	312	308	3
	固定負債	122	135	△13
	負債合計	434	444	△10
純資産の部	資本金	260	260	-
	資本剰余金	65	66	△1
	利益剰余金	811	844	△32
	自己株式	△43	△69	25
	その他の包括利益 累計額合計	34	32	2
	純資産合計	1,147	1,151	△3
負債及び純資産合計		1,582	1,596	△141

負債合計 (前期比)

コマーシャルペーパーを含む借入金	△75
未払金等(流動負債その他)	18
未払法人税等	17
支払手形及び買掛金	10
長期リース債務等(固定負債その他)	10

純資産合計

親会社株主に帰属する当期純利益	29
配当金の支払(125期)	△20
自己株式の取得	19
為替換算調整勘定の増加	15
その他有価証券評価差額金の減少	△9

Ⅲ-3.連結損益計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

科目	第126期 (2021年度)	第125期 (2020年度)	増減
売上高	1,243	1,236	6
売上総利益	376	379	△3
販管費	327	333	△5
営業利益	48	46	2
営業外損益	5	4	0
経常利益	53	50	3
特別損益	1	△17	19
税引前当期純利益	55	33	22
法人税等	25	10	14
非支配株主に帰属する 当期純利益	0	1	△0
親会社株主に帰属する 当期純利益	29	21	7

営業外損益

126期	助成金収入	4
	受取配当金	3
	操業休止関連費用	△1
125期	受取配当金	4
	助成金収入	2
	支払利息	△1

特別損益

126期	固定資産除売却損益	46
	減損損失	△35
	事業構造改善費用	△5
	新型コロナウイルス感染症による損失	△4
125期	新型コロナウイルス感染症による損失	△9
	減損損失	△4
	工場移転費用	△1

Ⅲ-4. 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円 単位未満切捨て)

	第126期 (2021年度)	第125期 (2020年度)	増減
営業活動	91	85	5
投資活動	68	11	56
フリー キャッシュフロー	159	97	61
財務活動	△123	△93	△30
現金及び 現金同等物 期末残高	144	97	47

主な営業キャッシュフロー

税金等調整前当期純利益	55
減価償却費	60
減損損失	35
固定資産除売却損益 (△は益)	△46
棚卸資産の増加 (△は増加)	△20

主な投資キャッシュフロー

固定資産の売却	94
投資有価証券の売却	38
固定資産の取得	△47
投資有価証券の取得	△10

主な財務キャッシュフロー

配当金の支払	△20
自己株式の取得	△19
コーポレート・バロを含む借入金の返済	△82

Ⅲ-5. 連結主要財務・経営指標

	単位	第126期 (2021年度)	第125期 (2020年度)	増減
ROA：総資産営業利益率	%	3.1	2.9	0.2
ROE：自己資本利益率	%	2.6	1.9	0.7
総資産	億円	1,582	1,596	△14
自己資本	億円	1,129	1,135	△6
自己資本比率	%	71.4	71.1	0.3
有利子負債額	億円	110	176	△65
BPS：1株当たり純資産	円	6,535	6,419	115

ROA：営業利益 ÷ 総資産

ROE：当期純利益 ÷ 自己資本

第126期定時株主総会 報告事項



IV

計算書類（単体）

お手許の招集ご通知 **45～46ページ**をご参照

第126期定時株主総会 報告事項



V

中長期的なグループの経営戦略と
対処すべき課題

お手許の招集ご通知 **21～25ページ**をご参照

V-1. 前中期経営計画「CAN 20」 振り返り

第1フェーズ			第2フェーズ				
2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年

セグメント別
事業戦略

機能ソリューション



海外展開拡大、新分野開拓、M&A等により好調

プラスチック：ベトナムに新工場設立(東南アジア市場拡大)、環境対応商品開発
 エンジニアリングプラスチック：国内に新工場設立、半導体向け製品好調
 メディカル：国内に新工場設立、中国市場拡大

新規事業
創出

アパレル



ECチャネルが好調に推移、新型コロナウイルス感染症影響により店頭販売苦戦

インナーウェア：レディス分野拡大（ファンデーションニーズ多様化対応）
 レッグウェア：ストッキング市場縮小による市況低迷、生産停止の影響を受ける

経営基盤
強化

ライフクリエイト



新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出規制や休業・時短要請などにより 集客影響を受け苦戦

ショッピングモール：休業/時短要請、外出規制/制限により来館者数鈍化
 スポーツクラブ：屋内施設での運動が敬遠されフィットネス苦戦

V-2.前中期経営計画「CAN 20」 振り返り

セグメント別
事業戦略

新規事業
創出

経営基盤
強化

健康・医療分野

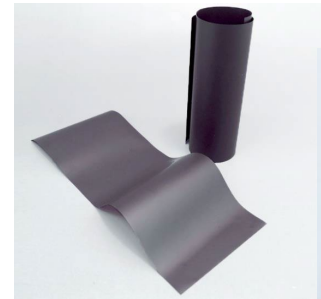
メディカル衣料、高機能ワイヤー製品の拡販
乳がんなどの手術後や肌が敏感になった方のセルフケアをサポートする肌着「メディキュア」を開発・販売



MediCure
メディキュア by GUNZE

高機能フィルム分野

次世代型リチウムイオン電池「全樹脂電池」の部材開発
他社との共同開発により、Gunzeのフィルム製造技術をベースとした金属集電体を使用しない安全な樹脂集電体の開発に成功



メディカル分野・アパレル事業

M & A 活用による事業領域拡大
メディカル：医療機器販売会社を買収
アパレル：アウターウェア小売・卸売販売会社を買収

株式会社メディカルユーアンドエイ

Jeans & Casual **the dan** co.,ltd.

V-3 .前中期経営計画「CAN 20」 振り返り

セグメント別
事業戦略

新規事業
創出

経営基盤
強化

生産基盤の強化による競争力の向上

NEXT（ New Excellent Technology ） 運動

現場力・生産性の向上、トータルコスト削減、ITコミュニケーション環境の構築により、次世代の技術立社グンゼを目指す運動



■プラスチック/ベトナム工場

プラスチック

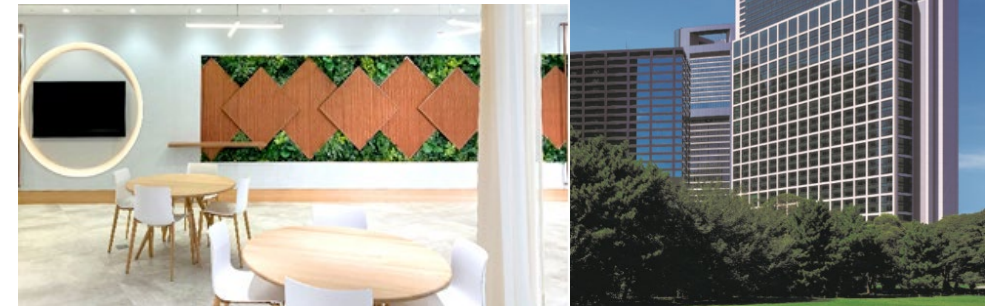
アセアンエリアを中心とするプラスチック収縮フィルム需要増加に対応するためにベトナムに工場設立

インナーウエア

生産対応力・効率を追求した生産拠点の集約（中国→ベトナム）

経営基盤強化

- オフィス改革
- ニューノーマルに対応した働き方改革（テレワーク導入、リモート営業強化 等）
- 女性活躍等ダイバーシティへの取り組み



■東京支社の新オフィス（東京都港区）

V-4 .前中期経営計画「CAN 20」 振り返り

環境への取り組み強化

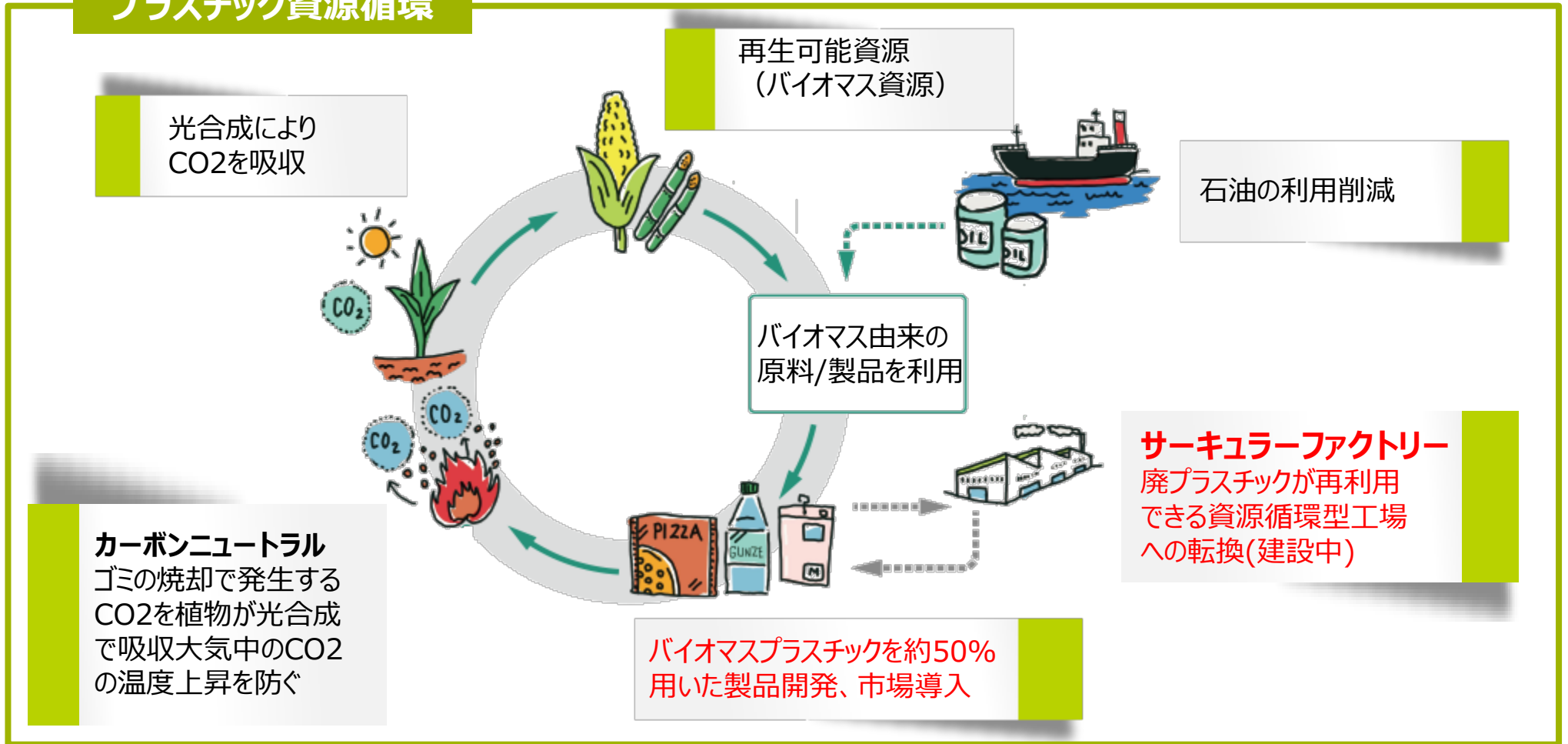
- プラスチック資源循環基本方針制定、資源循環戦略推進
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）提言に賛同

セグメント別
事業戦略

新規事業
創出

経営基盤
強化

プラスチック資源循環



カーボンニュートラル
ゴミの焼却で発生する
CO2を植物が光合成
で吸収大気中のCO2
の温度上昇を防ぐ

バイオマスプラスチックを約50%
用いた製品開発、市場導入

サーキュラーファクトリー
廃プラスチックが再利用
できる資源循環型工場
への転換(建設中)

石油の利用削減

再生可能資源
(バイオマス資源)

光合成により
CO2を吸収

バイオマス由来の
原料/製品を利用

V-5.前中期経営計画「CAN 20」 振り返り

資本コスト効率向上

- 企業価値向上に向けた資本コスト経営（GVAによる評価）の導入
- 政策保有株式の縮減
- 遊休不動産の売却

セグメント別
事業戦略

新規事業
創出

経営基盤
強化

投下資本の削減
不要な資産の売却、
売上債権・たな卸資産の圧縮による
キャッシュフローの改善

事業利益の増加
売上げ増、コストダウン

売上

費用

税引後
営業利益
(+配当金)

投下資本

×

投下資本
収益率
(ROIC)

-

加重平均
資本コスト
(WACC)

WACCの引き下げ
IR活動の充実等による
株主資本コストの引き下げと
最適な負債・資本調達

資本
コスト額

GVA : Gunze Value Added
(経済的付加価値指標)

V-6. 新中期経営計画 「VISION2030 stage 1」 ビジョン

Stage1			Stage2			Stage3		
2022年	2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年

SDGs
 (国際目標)

2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す



2030年
 ビジョン

新しい価値を創造し「こちよさ」を提供することで
 持続可能な社会の実現に貢献します

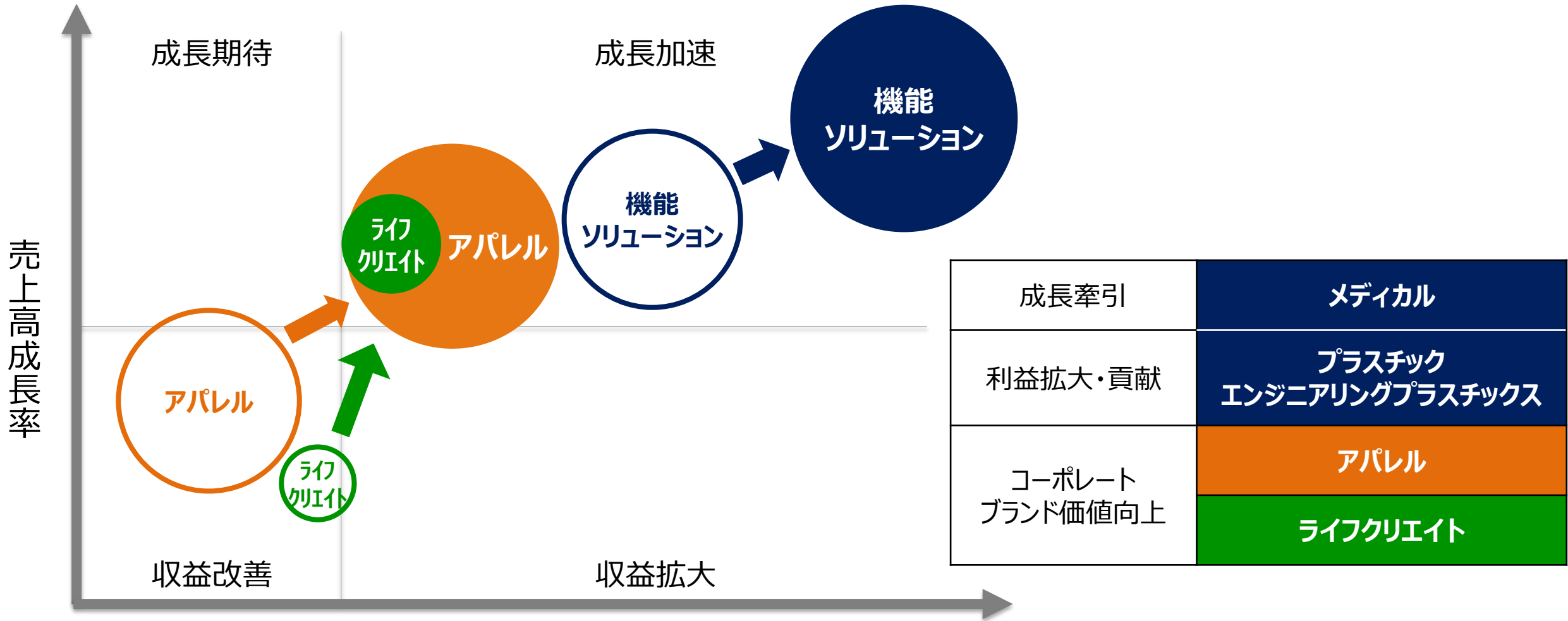


キーワード





変革と挑戦

「経済的利益」と「社会的利益」を両立するサステナブル経営により
 社会貢献とグループの持続的成長を実現

V-7. 「VISION2030 stage 1」 事業セグメントの役割と位置づけ



V-8. 「VISION2030 stage 1」基本戦略と経営目標(財務目標)

 <p>新たな価値の創出</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業の創出と既存事業の成長 (M&A含む) サステナビリティを追求した新商品、新サービスの提供
 <p>資本コスト重視の経営</p>	<ul style="list-style-type: none"> 経営資源の戦略的配分 資本効率の追求によるGVA黒字化
 <p>企業体質の進化</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多様な人財が活躍する風土づくり 働き方改革による意識・業務改革の推進 デジタルの積極活用によるプロセス変革 (生産、販売、開発、物流、間接等すべて)
 <p>環境に配慮した経営</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動における環境負荷の低減

2024年度グループ経営目標

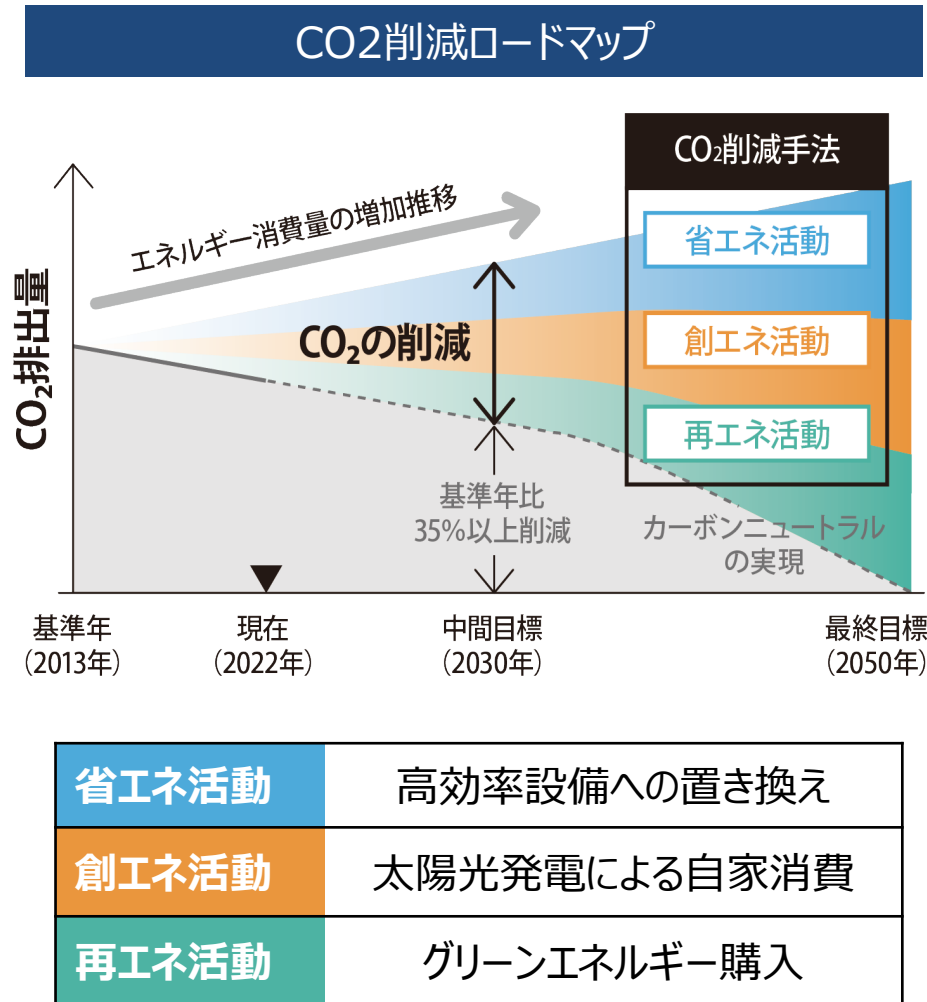
売上高	1,400億円
営業利益	100億円
GVA	黒字化
ROE (自己資本利益率)	6.32%以上
GVA黒字事業はROIC (投下資本収益率) による目標値を設定し、更なる高みを目指す	

株主様への利益還元

ROEが株主資本コストを上回るまで総還元性向100%を維持するとともに株主資本配当率(DOE)2.2%以上の安定的な配当

V-9. 「VISION2030 stage 1」 経営目標(非財務目標)

区分	目標指標	2024年 目標	2030年 目標	
環境 対応	CO2排出量 削減率 (2013年度対比、Scope1+2)	28% 以上	35% 以上	
	エネルギー原単位 削減率 (対前年)	1% / 年 以上		
企業 体質 の進 化	女性活躍推進	女性管理職比率	6% 以上	20% 以上
		女性社員比率	35%	41%
		女性総合職採用比率	50%	50%
	子育て支援	男性育児休職取得率	50%	70%
	組織風土づくり	エンゲージメントスコア	70点想定	80点想定
	働き方改革	年休取得率	75%	100%
その他	生産性向上率 (P値※) ※ 当社オリジナルの生産性対前年向上指標	103%	103%	



V-10. セグメント別戦略課題 1 (機能ソリューション)

<p>プラスチック</p>	<ul style="list-style-type: none"> 海洋プラスチック問題や食品ロスの削減に寄与する環境対応型新商品の市場投入 サーキュラーファクトリー（資源循環型工場）実現に向けたプロジェクト推進 デジタル技術の横展開による生産革新の推進 米国、中国およびアセアンを中心とした海外拡販の強化
<p>エンジニアリング プラスチック</p>	<ul style="list-style-type: none"> OA向け製品のシェア拡大 健康・医療関連ならびに産業機器向け製品の拡販
<p>メディカル</p>	<ul style="list-style-type: none"> 米国、中国を中心とした海外拡販の強化 次期大型新商品の上市 競争力向上を目的とした組織再編の検討

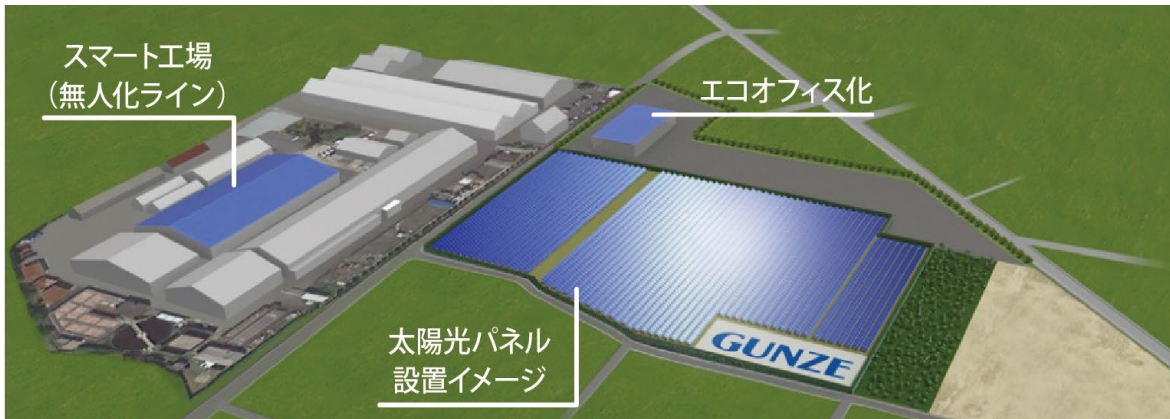


サーキュラーファクトリー(守山工場)
 ※建設中外観 2024年完成予定

<p>石油化学原料の使用削減</p>	<p>フィルム薄膜化、 植物由来原料の使用増</p>
<p>資源循環の仕組み確立</p>	<p>リサイクルに適した製品開発 再原料化技術確立</p>
<p>資源効率化</p>	<p>回収した廃プラスチック 再利用によるごみゼロ化</p>

V-11. セグメント別戦略課題 2 (アパレル)

共通	<ul style="list-style-type: none"> 消費者行動変化に伴い伸長しているE Cチャネルや直営店舗のDtoC (※) ルートでの拡販 他社とのコラボレーション推進
インナーウェア	<ul style="list-style-type: none"> 消費者ニーズ（天然素材回帰、カジュアル化、健康志向、環境意識の高まり）に則したヘルス&ウェルネス商品やエシカル商品の拡充 フェムテック商品や差異化ファンデーション商品等レディスインナーの拡販 再生可能エネルギーを使ったCO2排出量の実質ゼロ化と無人化ラインからなるネットゼロファクトリー計画推進
レッグウェア	<ul style="list-style-type: none"> 消費者ニーズの変化に基づく市場対応力強化 健康関連分野を含むレギンス・ボトムカテゴリーの新商品積極展開 生産拠点の再編成等による構造改革



ネットゼロファクトリー(梁瀬工場) ※完成イメージ図

※ Direct to Consumer

中間流通を介さず自社のECサイトなどを通じて商品を直接消費者に販売すること。

省エネルギー改善	リアルタイムな電力使用量見える化、高効率設備への更新
化石燃料の使用削減	オール電化設備への切り替え
太陽光パネルの設置と緑化整備	

V-12. セグメント別戦略課題 3 (ライフクリエイイト)

不動産	<ul style="list-style-type: none"> 商業施設の収益力向上 投資効率を重視した物件別管理の強化 (ショッピングセンター) 人と環境にやさしい施設づくり (環境ビジネス) 省エネ・施設整備管理事業の展開によるCO2削減サポート
グリーン	<ul style="list-style-type: none"> CO2削減に向け、植樹活動等を通じて固定量増加に積極的に取り組む
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> withコロナへの対応強化 地域・店舗特性に合わせた会員拡大及びスクール事業拡大



ショッピングセンター「つかしん」
リニューアル (推進中)

 自分に似合う カラダをつくる	 じわじわ ダイエット	 目的別 おとなスクール
 快調・コンティ ジョギング	 超発散! 週1ルーティン	 毎日滝汗。 ジグでサウナ



地域・会員特性に合わせた
プログラムを提供

V-13. 第127期（2022年度）連結業績予想

（単位：億円 単位未満切捨て）

	第127期 (2022年度)		第126期 (2021年度)		対前期	
	業績予想	利益率(%)	実績	利益率(%)	増減	増減率(%)
売上高	1,360	—	1,243	—	117	9.4
営業利益	60	4.4	48	3.9	11	22.9
経常利益	60	4.4	53	4.3	6	11.1
親会社株主に帰属する 当期純利益	37	2.7	29	2.3	7	25.8

第127期（2022年度）配当は、当期より5円増配し、1株当たり145円を予定しております

第126期定時株主総会



決議事項

お手許の招集ご通知 **6～17ページ**をご参照

第1号議案 (招集ご通知 6 ページ)

剰余金の処分の件

＜期末配当に関する事項＞

連結配当性向50%程度を目安に、中期的な業績見通しに基づき
安定的・継続的な利益還元を実施する方針のもと、
第126期の期末配当は下記の通りとさせていただきます。

(1) 配当財産の種類

金銭といたします。

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項およびその総額

当社普通株式1株につき 金140円 総額2,418,586,660円

(3) 剰余金の配当が効力を生じる日

2022年6月27日

第2号議案 (招集ご通知7～8ページ)

定款一部変更の件

株主総会資料の電子提供制度導入に備えるため、当社定款を変更いたします。(第16条変更・附則追加)

現行定款	変更案
<p style="text-align: center;">第3章 株主総会</p> <p>第12条～15条</p> <p style="text-align: center;">(条文省略)</p>	<p style="text-align: center;">第3章 株主総会</p> <p>第12条～15条</p> <p style="text-align: center;">(現行どおり)</p>
<p><u>(株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供)</u></p> <p>第16条 当社は、株主総会の招集に際し、株主総会参考書類、事業報告、計算書類および連結計算書類に記載または表示をすべき事項に係る情報を、法務省令に定めるところに従いインターネットを利用する方法で開示することにより、株主に対して提供したものとみなすことができる。</p> <p style="text-align: center;">(新設)</p>	<p style="text-align: center;">(削除)</p> <p style="text-align: center;"><u>(電子提供措置等)</u></p> <p>第16条 当社は、株主総会の招集に際し、株主総会参考書類等の内容である情報について、電子提供措置をとるものとする。</p> <p>② 当社は、電子提供措置をとる事項のうち法務省令で定めるものの全部または一部について、議決権の基準日までに書面交付請求した株主に対して交付する書面に記載しないことができる。</p>

第2号議案 (招集ご通知 7～8ページ) ※前ページ続き

現行定款	変更案
第17条～18条 (条文省略)	第17条～18条 (現行どおり)
(新設)	<u>(附則)</u> ① 定款第16条の変更は、会社法の一部を改正する法律（令和元年法律第70号）附則第1条ただし書きに規定する改正規定の施行の日である2022年9月1日（以下「施行日」という）から効力を生ずるものとする。 ② 前項の規定にかかわらず、施行日から6か月以内の日を株主総会の日とする株主総会については、定款第16条（株主総会参考書類等のインターネット開示とみなし提供）はなお効力を有する。 ③ 本附則は、施行日から6か月を経過した日または前項の株主総会の日から3か月を経過した日のいずれか遅い日後にこれを削除する。

株主総会資料の電子提供制度

- ・株主総会参考書類、事業報告、連結計算書類等を自社のホームページ等のウェブサイトに掲載することにより、株主さまに株主総会資料を提供したものとする制度です。
- ・電子提供制度は2022年9月1日施行され、6か月の経過措置後、上場会社に一律義務付けとなるため、当社の定時株主総会は、次期（第127期）より適用となります。

第3号議案 (招集ご通知 9～14ページ)

取締役8名選任の件

取締役候補者			
候補者番号	候補者氏名	候補者番号	候補者氏名
1	廣地 厚	5	木田 理恵
2	佐口 敏康	6	熊田 誠
3	中井 洋恵	7	及川 克彦
4	鯨岡 修	8	河西 亮二

(注) 中井 洋恵、鯨岡 修 及び 木田 理恵の3氏は社外取締役の候補者です。

第4号議案 (招集ご通知 15 ページ)

補欠監査役 1 名選任の件

補欠監査役候補者	
候補者番号	候補者氏名
1	前川 直輝